

令和3年度第3回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 令和4年1月20日（木）午前9時40分～12時
場 所 多摩市立図書館 本館 講座室
出 席 おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、
多摩市文庫連絡協議会、もりの文庫、布の絵本サークル ピエロ、つくしんぼ文庫
欠 席 ひなたぼっこ、ひなの会

（事務局）

コロナ対策として距離をとり、換気をしながら時間短縮し開催する、ご理解願いたい。

開会

（事務局）

（資料の確認）

- 1 令和2年度第2回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録（案）の確認

（事務局）

- ・一か所、事務局から訂正のあった個所をお知らせする。
（17ページ3行目～4行目、6行目～7行目 文言の追加）

（文庫連）

- ・2ページ～6ページ 施作番号→施策番号 誤字修正）

（会長）

- ・特に意見がないため、確定とする。

2 報告事項

- （1）第三次多摩市子どもの読書活動推進計画アクションプラン（令和3年度版）【多摩市立小・中学校分】について

(事務局)

- ・【図書館・関係課分】と同様に、進めていく予定。
- ・特にご留意いただきたい点として、これはあくまで小中学校の一年間の振り返りを行うためのものであり、学校間同士の比較をするためのものではないことをご理解いただきたい。
- ・本日は配布のみ。今後この会議で進捗状況を確認していきたい

(多摩おはなしの会)

- ・前回の要点録を確認したところ、この場で確認したいと思った。作成の際に関わらないので、取り組みのことでこの場で意見を言いたい。
- (会長) 3 意見交換で行うこととする。

(2) 第13回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》開催内容について

(事務局)

(資料2に沿って説明)

(コアラ文庫)

- ・展示について 桜ヶ丘エリア（関戸図書館）でも開催できたらと思う。
- できない理由、日程や場所など問題があれば説明いただきたい。
- (事務局) 平成26, 27年頃、関戸図書館の活動室で行っていたが、来場者数が非常に少なかった。場所の変更を検討し、百貨店の通路に応募したが外れた。
- 確実に使うための準備は早く行わなければならない。グリナード永山が遠いと感じる市民もいると思うが、関戸図書館以外の候補地が見つからず、図書館本館で大規模行うことで落ち着いた。

(コアラ文庫)

- ・年々企画が充実してきているので、今までの展示の範囲ではもったいないと感じている。百貨店の通路展示は人の目が多くあるので、今後展開出来たらよいと思う。

(多摩おはなしの会)

- ・関戸公民館のギャラリーは使用できないのか？
- (事務局) パネルの問題等いろいろあり断念した。可能な限り検討したが、1ヵ月の間に3ヶ所で展示を行う労力が大きく、人力不足や講演会等のスケジュールなども検討した結果、現在の形に落ち着いた。

(会長)

- ・今年度は新型コロナウイルスの問題があるため、前回までのほんともフェスタを踏襲する形が無難である。
- ・関戸での展示はこれまでの経緯を踏まえた上で、来年度以降の検討課題とする。意見をまとめ、今後検討する必要がある。

(つくしんぼ文庫)

- ・ほんともフェスタ紙芝居講座の年齢について、対象外の場合は参加できないのか。また、定員まで集まらなかった場合はどうするのか
- (事務局) ティーンズに的を絞った企画の為、基本的にはこのとおりすすめる。

(副会長)

- ・今回に限らず、講演会の様子をホームページなどで視聴することは難しいのか。
- (事務局) 今後検討する。今回の講演会では配信などは行わない。

(副会長)

- ・おはなし会の参加者制限については各図書館の裁量で決定しているのか。以前は先着5名という話も聞いていた。1組が2名以上の場合はどの様に対応するのか。
(豊ヶ丘図書館 先着、最大5組10名など)

(会長)

- ・この人数制限は図書館一律で決定しているのか、それとも会場によるのか
- (事務局) (資料7を提示) 条件は図書館で一律。条件に基づいて各館で制限し、人数などを設定している。社会的距離、最低1メートルの距離を確保するなど、決まりを守る人数で見計らっている。組数に限らず、結果的に人数が上限を超えてしまわないように、このような記載をさせていただいた。

(会長)

- ・まん延防止だけでは中止としないか。
- (事務局)
- 現在は継続しているが、今後の状況によっては変更する可能性もある。その際は各館の担当者を通じて連絡を行う。おはなし会を見合わせたいという希望があればご相談いただきたい。

(3) 各館おはなし会の開催状況について（令和3年12月分）

(事務局)

(資料3に沿って説明)

(会長)

- ・意見や質問がないようなので次に進む

(4) 「多摩市読書活動振興計画」及び「子どもの読書活動推進計画」計画期間の延長について

(事務局)

(資料4に沿って説明)

(コアラ文庫)

- ・私たちは次計画などを組む際に、意見を求められる立場だと思っている。
しかし、決定事項を報告されるだけでびっくりすることがある。自分たちの意見が反映されるかどうかは別問題として、決定より以前に情報を知りたい。自分たちが報告を聞くだけの人になっている。

(多摩おはなしの会)

- ・計画に関する情報は早く知らせてほしい。市民参加の道を図書館にはとってほしいと思う。

(会長)

- ・上記を踏まえて、今後も図書館は私たちに情報を伝えてほしい。

3 意見交換

(1) 令和4年度に向けてのボランティア連絡委員会の募集について

(事務局)

(資料に5に沿って説明)

(会長)

- ・多摩市立図書館のボランティア団体の基準について疑問がある。

- ・今回ほとんどフェスタで行う、おはなし会への参加についての書類は、どのような基準で送ったのか。
- ・市民ボランティア連絡会の会議に参加する基準やおはなし会を行う団体の基準についてもあいまいなように感じている。

(コアラ文庫)

- ・個人は対象にならないのか。以前は個人での参加もあったと思う。
- ・関心のある個人は多摩市の読書活動推進に参加ができないのか。

(つくしんぼ文庫)

- ・聖ヶ丘図書館で、個人ではおはなし会の活動に参加はできないと聞いた。

(事務局)

- ・ボランティア団体登録についての説明。
- ・登録いただいているところは把握している。ほとんどフェスタのおはなし会参加についての通知をお送りしたのは、これまで特別おはなし会に参加いただいたことのある団体、現在図書館でおはなし会を行っていただいている団体に郵送した。
- ・この連絡会では、第三次多摩市子どもの読書活動推進計画について決めるために集まっているため、おはなし会に参加している団体の代表者を集めている。

(会長)

- ・募集通知についての意見はなし
- ・積み残しはあるが時間の関係で次の議題へ。

(2) 令和4年度市民ボランティア連絡会の開催内容について

(事務局)

(資料6に沿って説明)

- ・年間3回行うことを考えている。次回は5月の中旬から下旬ではどうか。
- ・年間の会議のテーマも決めていきたい。

(コアラ文庫)

- ・新型コロナウイルス対応の体制になってから、会議は年間3回予定というのが定着してきた。が、以前はもっと会議回数が多く、こまめな話し合いが行われていたように

思う。ほんともフェスタなどのイベントに対して意見を言うチャンスがなくなってきた。年間3回のスケジュールで行うのであれば、5月の会議の際に、次回のほんともフェスタについて意見交換を行った方が良いのではないかと。

(文庫連絡協議会)

- ・現在はコロナ対応ということもあるが、前年度踏襲のほんともフェスタになっていると思う。来年度は、ほんともフェスタそのものについての方向性を話し合う時間が必要なのではないか。年間3回では会議の回数が少ないのではないかと。

(会長)

- ・次回の会議では、今回のほんともフェスタについての報告と反省、今後のほんともフェスタについての在り方について考えたい。

(コアラ文庫)

- ・中央図書館のオープニングイベントについても検討したい。連絡会のスケジュールは基本3回として、臨時の会を設ける、という提案をしたい。

(事務局)

- ・中央図書館のオープンにもからめて、今後のほんともフェスタについては検討していきたい。しかし事務を考慮した上で、会議の回数を3～4回以上に増やすのは難しい。

(多摩おはなしの会)

- ・ボランティア連絡会の正式な集まりではなく、自主的な会議の開催をしてみたいのではないかと。今の連絡会は意見交換ではなく、決まったことを承認する会議になってしまっている。

(会長)

- ・図書館全体のスケジュールも考慮しながら連絡会を開催し、ボランティアとして話し合いの場を設けていきたい。

(文庫連絡協議会)

- ・ほんともフェスタの講師に関しては、10月下旬より前に話し合った方が良いのではないかと。

(事務局)

- ・6月から7月あたり、第3木曜日で2回目を開催するのが妥当か。

(布の絵本サークル ピエロ)

- ・ボランティアのみで話し合いの場を設けてはどうか。こちらで意見をある程度固め、準備をしたうえで連絡会を開催してはどうか。

(会長)

- ・1回目(5月)の会議でほんともフェスタの今後の在り方について検討し、その後2回目(6月～7月開催予定)を行うまでにボランティアのみで話し合いを設けるかを決める。基本年4回連絡会を開催し、都度ボランティアのみでの話し合いを行う。ということによいか。

(3) 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画アクションプラン(令和3年度版)【図書館・関係課分】について

(4) おはなし会の今後のあり方、ボランティアと図書館の協力体制等の方向性について

(会長)

- ・(3)(4)は関係がある議題なので合わせて意見交換の場とする。

(事務局)

(資料1、資料7に沿って説明)

(会長)

- ・時間が迫っている為、残りの時間は赤ちゃんおはなし会についての意見交換を行う。
- ・他の議題についても意見をピックアップする機会が必要である。文章化し、書面にして共有するのが良いか。

(つくしんぼ文庫)

- ・赤ちゃんおはなし会について、募集が始まった当初は団体ではなく個人で参加、と言われたように思う。聖ヶ丘図書館では、つくしんぼ文庫ではない方も、赤ちゃんおはなし会には参加されていた。ボランティア連絡会に参加していない、個人で活動している方の意見も必要であると思う。図書館は個人でボランティアに参加している方たちの意見を聞く場を設けているのか。

→ (事務局) 各館の子ども読書支援担当者会議でも、この件について意見交換を行っている。同様に検討していくので色々と意見を出していただきたい。

(事務局)

- ・赤ちゃんおはなし会について、コロナで中止になる少し前から、ブームが去り参加者が減っている。課題の整理をしていきたい。

(多摩おはなしの会)

- ・図書館の会議の中で今はブームが去って参加者が少ないという意見があったということなのか。

→ (事務局) 会議の中での意見ではなく、各館の日常の実績や担当者の意見、情報などから確認した。

(多摩おはなしの会)

- ・多摩市の図書館は、赤ちゃんおはなし会をブームにのって行っている感覚なのか。

→ (事務局) 赤ちゃんおはなし会がいつから始まったかは未確認である。

(つくしんぼ文庫)

- ・赤ちゃんおはなし会は子どもが赤ちゃんの時から参加して、その子が2, 3歳になり卒業すると来なくなる。でもまた生まれた赤ちゃんはその場があればきてくれるだろうし、大切な時期でもあるので、わらべうたなどを中心にした赤ちゃんおはなし会はとても重要なものだと思っている。
- ・ブームが去ったとはどういう意味なのか。
- ・赤ちゃんおはなし会を卒業した子が、成長しておはなし会に参加してくれているということもある。赤ちゃんおはなし会はもちろん大事だが、赤ちゃんおはなし会とおはなし会の間にあたる受け皿になるようなおはなし会も大切である。

(多摩おはなしの会)

- ・ブックスタートだけでは不十分ということで、各館で行う赤ちゃん向けのおはなし会が始まった、というのが私たちの赤ちゃんおはなし会に対するとらえ方である。赤ちゃんおはなし会をやり始めるにあたって、私たちは、2歳まで赤ちゃんおはなし会を体験した子どもたちのその後の対応について心配していた。そのあたりは図書館でどう考えているのか。

(会長)

- ・赤ちゃんおはなし会を考えることは、赤ちゃんおはなし会に参加してくれた子どもたちが育った1年後、2年後の場所について考えることである。

(多摩おはなしの会)

- ・図書館がなぜ赤ちゃんおはなし会を行うのかという考えを、きちんと出していないといけないと思う。私たち市民は問題提起してきたつもりである。
- ・赤ちゃんおはなし会は親と子の居場所づくりのために行うのではなく、母語の獲得を助け、言葉の楽しさや語りかけてもらう喜びを体験し、本に親しむ機会をつくるために行っているということを図書館が市民へきちんと知らせていかなければならないと思う。
- ・この2年間の空白で赤ちゃんおはなし会は何をすところなのか、ということが図書館職員の間で引き継がれてなく、わからなくなっている。わらべうたがだめで、本の読み聞かせのみでは、赤ちゃんおはなし会は成り立たない。
- ・“ブーム”という言葉が出てくることじたいが、図書館側が赤ちゃんおはなし会をどうとらえていたのか疑問である。

(会長)

- ・貴重な意見がでた。今後の話し合いに活かしていきたい。

(会長)

- ・次回の会議までに勉強会、予備の会議を開催する場合は以下の議題で行う。
- ・令和3年度のアクションプランについて
- ・ほんともフェスタについて
- ・おはなし会について

質問

(多摩おはなし会)

- ・おはなし会を行う上で、判断に迷うことがある。(コロナの濃厚接触者に接触、家族が濃厚接触者の可能性がある場合など) 基準を知りたい。

(図書館)

- ・こちらとしては、おはなし会を必ず行うもの、とはしていない。ボランティアの皆さんで状況を判断し、ご協力いただくこともありうる。ホームページにはおはなし会は

中止になるかもしれない旨は掲載しているため、連絡は直前でも構わないので、無理のない範囲でおはなし会を行っていただきたい。

(会長)

- ・日々基準は更新されている。臨機応変に対応し、個人でも感染対策を行いながら活動を行っていききたい。

次回の日程（仮）

5月19日（木）9時40分～11時40分 講座室にて

(文庫連絡協議会)

- ・「文庫連だより」と「文庫展ご案内」のチラシ、「多摩市文庫連絡協議会 40周年記念」冊子を配付する。

閉会

(午前12時 終了)